

財政福祉委員会 説明資料(2)

八事斎場の再整備について

平成29年12月12日

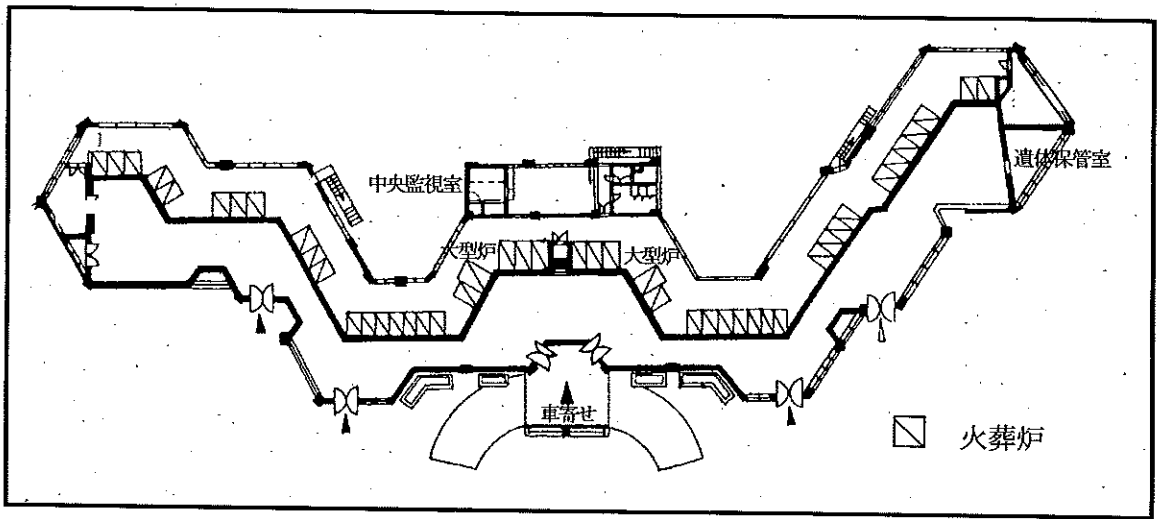
健康福祉局

目 次

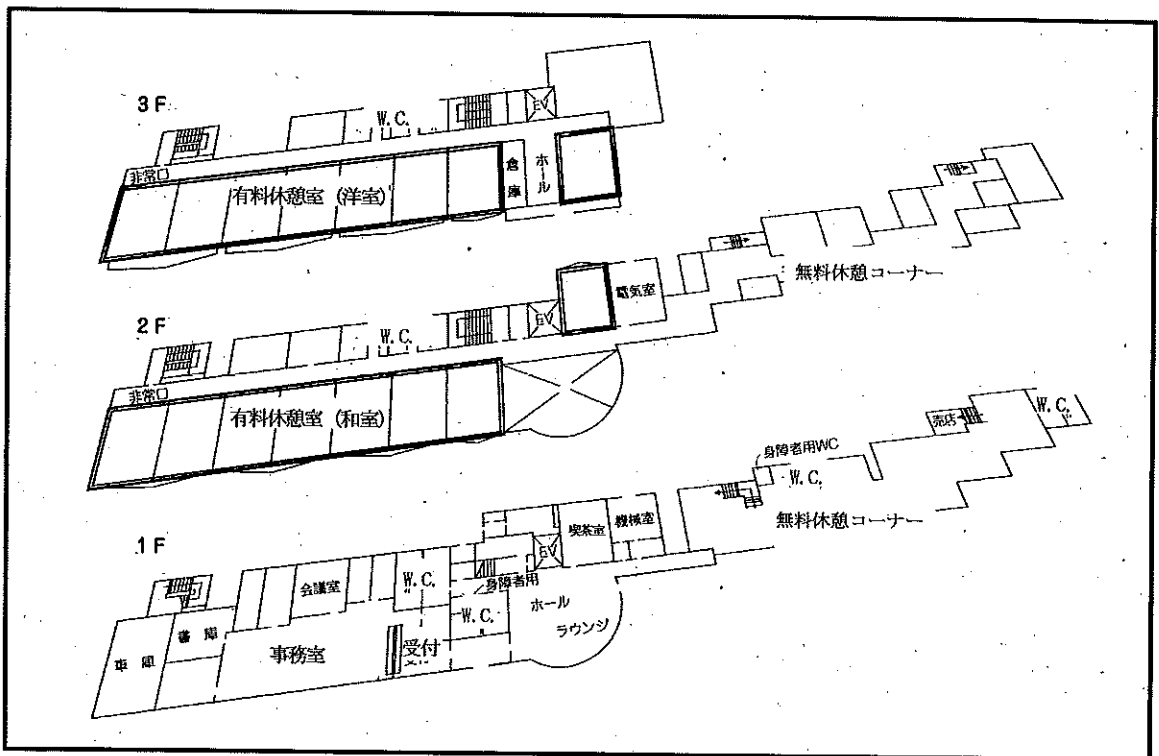
	頁
1 八事斎場の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 平成28年度に実施した八事斎場の再整備に向けた調査結果・・・	3
3 民間活力の活用の検討について・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4 今後の再整備の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
5 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(参考1) 八事斎場現況配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(参考2) 本市の火葬実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9

(3) 八事斎場現況平面図

<斎場棟>



<待合棟>



2 平成28年度に実施した八事斎場の再整備に向けた調査結果

(1) 火葬実績及び将来推計

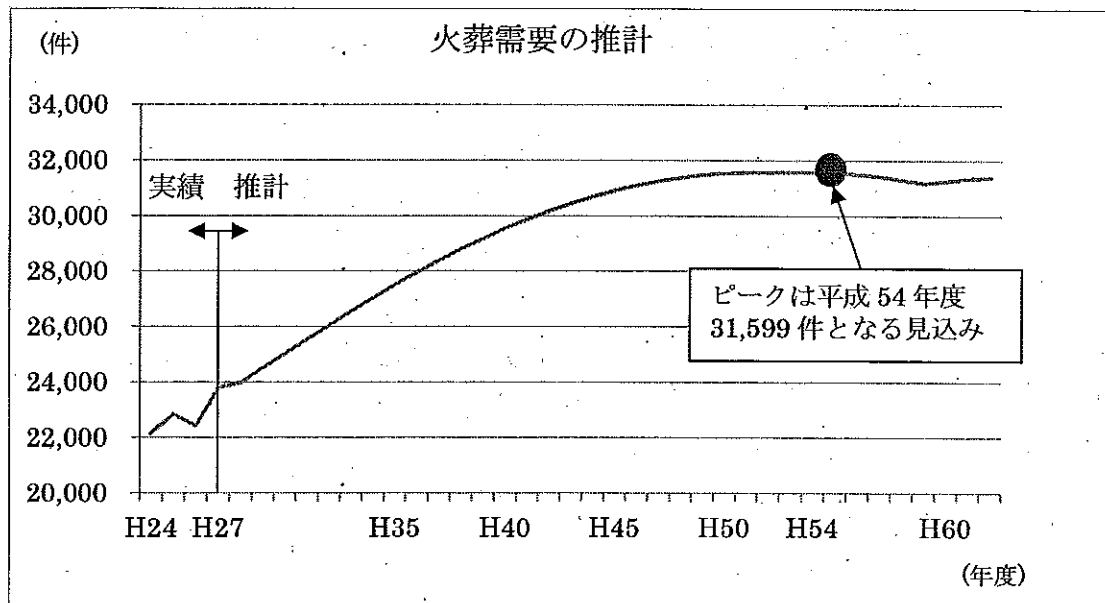
本市における火葬件数の実績と推計

年 度	件 数
平成24	22,136件
25	22,823件
26	22,424件
27	23,787件
30	25,023件
35	27,512件
40	29,551件
45	30,925件
50	31,551件
54	31,599件
60	31,275件

実績

推計

注：第二斎場は、平成27年7月供用開始



(2) 必要火葬炉及び必要諸室の検討

ア ピーク時における集中日の火葬件数について

火葬需要がピークを迎える平成54年度に31,599件となる見込みであり、平成27年度の火葬実績を踏まえた予測では、集中日に141件の火葬需要が見込まれる。

日平均火葬件数	集中日の火葬件数
95件	141件

注：ピーク時（平成54年度）における集中日の火葬件数は、日平均火葬件数の見込みに対し、平成27年度の火葬実績から得られた火葬集中係数1.49を乗じたもの。

イ 必要火葬炉数について

ピーク時における集中日の火葬件数に対応可能な火葬炉数の算定をし、検討を行った。

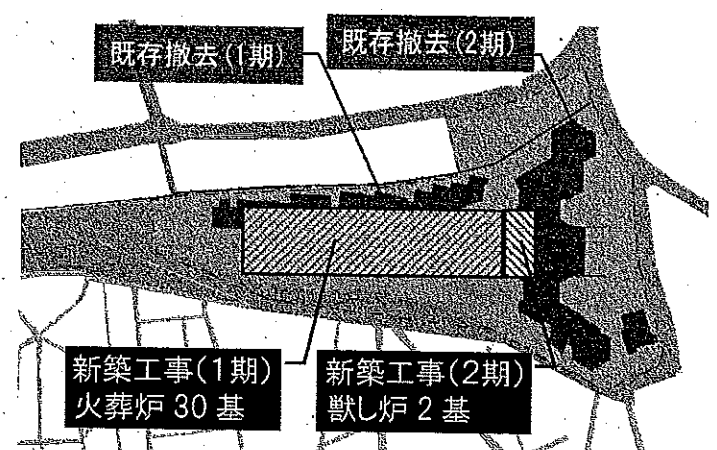
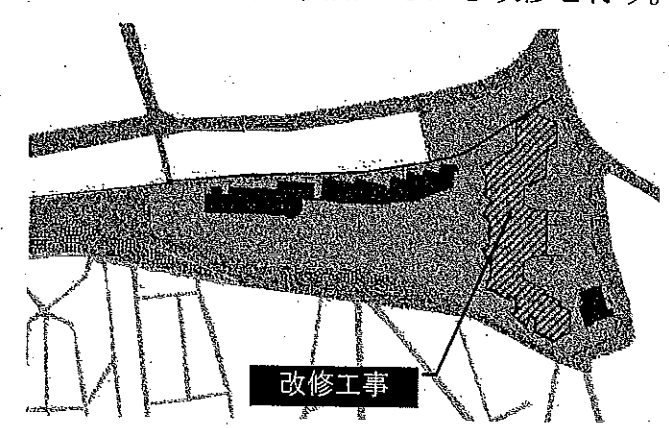
平均稼働回数	市内必要火葬炉数	八事必要火葬炉数
2回	74基	44基
2.5回	60基	30基
3回	50基	20基

注：八事必要火葬炉数は、(市内必要火葬炉数－第二斎場炉数30基)として算出

- ・八事必要火葬炉数44基（平均稼働回数 2回）の場合
狭隘な敷地であり、お別れ・拾骨室等の個室空間及び第二斎場同等の火葬炉設備を設置するスペースが確保できない。
- ・八事必要火葬炉数30基（平均稼働回数 2.5回）の場合
最終拾骨時間はおおむね18時となる。
- ・八事必要火葬炉数20基（平均稼働回数 3回）の場合
最終拾骨時間はおおむね19時となる。

<p>必要火葬炉数</p>	<p>将来火葬需要のピーク時に対応するためには火葬炉30基を整備することが最も適している。</p>
<p>必要諸室</p>	<p>第二斎場が供用開始され、八事斎場とのサービス水準の差が顕著となってきている。現在の八事斎場には、告別・拾骨室がなく、プライベート空間が確保されていないため、告別・拾骨室を設置する必要がある。</p>

(3) 『改築』案と『改修』案の比較

<p>改 築 案</p>	<p>既存の火葬炉を稼働させながら、新たな斎場施設を同敷地内に整備する。既存の火葬炉を含む斎場棟は、斎場施設の新築工事（1期）の完了にあわせて撤去を行う。</p>  <p>既存撤去(1期) 既存撤去(2期) 新築工事(1期) 火葬炉 30基 新築工事(2期) 獣し炉 2基</p> <p>【建物構造】 鉄筋コンクリート造3階建 【主な施設】 火葬炉 30基 【特 徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来火葬需要に対応可能な火葬炉数（30基）が設置可能 ・既存火葬炉を稼働しながら工事が可能 ・整備に要する期間は8年以上（再整備計画策定後） ・事業費 約9.6億円
<p>改 修 案</p>	<p>既存の施設の躯体を利用しながら改修を行う。</p>  <p>改修工事</p> <p>【建物構造】 鉄筋コンクリート造平屋建（既存建物利用） 【主な施設】 火葬炉 15基 【特 徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉は最大15基設置可能 ・既存火葬炉を稼働しながらの工事は困難 ・整備に要する期間は4年以上（再整備計画策定後） ・事業費 約2.4億円

3 民間活力の活用の検討について

平成26年度に直営の公の施設等について、民間活力活用の総点検を行い、対象施設の点検を踏まえた取組方針をとりまとめ、公表した。八事斎場については、下記の取組方針に基づき、必要な検討を行うものとした。

(1) 平成27年2月公表の取組方針

建物及び火葬設備の老朽化に伴う再整備の検討と併せて、すでに指定管理者制度を導入している第二斎場の事例も参考に、民間活力の活用について検討していく。

(2) 取組状況等

時 期	内 容
平成28年度	八事斎場の再整備に向けた調査委託で、民間活力の活用を含めた整備、運営手法の検討を行った。
平成30年度	平成29年3月策定の「名古屋市PPP/PFI手法導入優先的検討指針」に基づき、外部コンサルタント等を活用した導入効果のさらなる検討を進めていく。

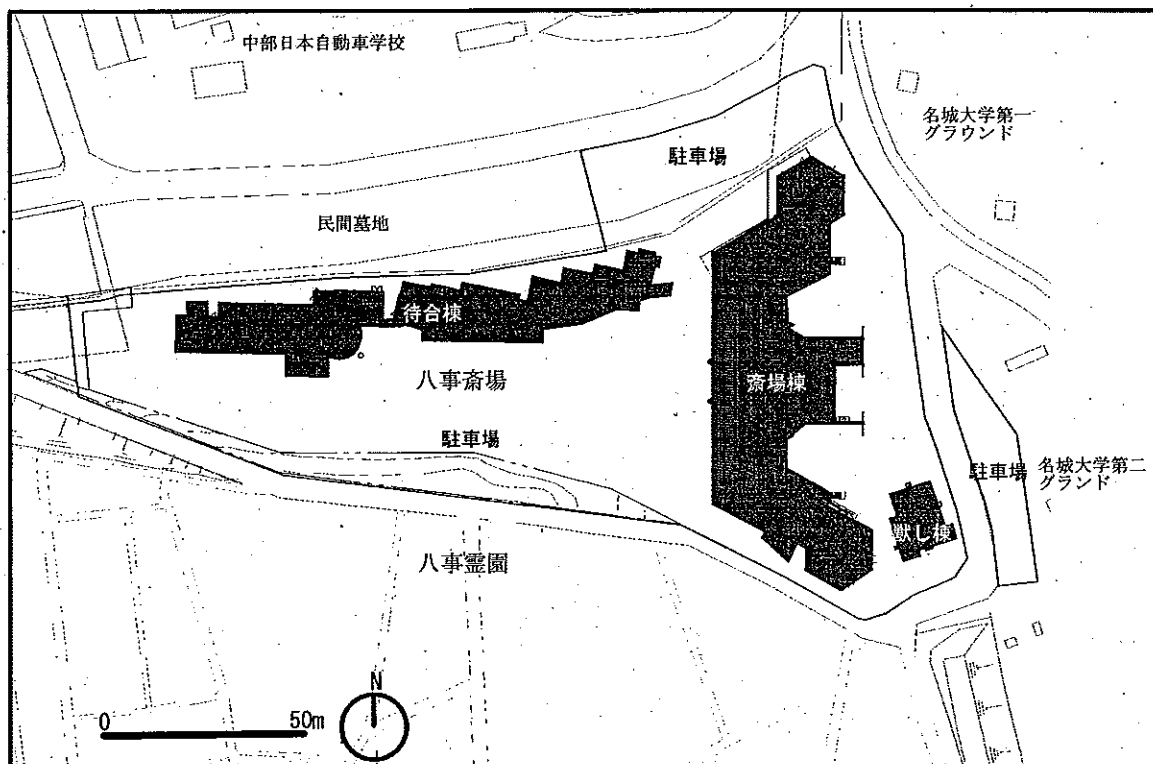
4 今後の再整備の方向性

- ・将来の火葬需要のピークを踏まえ、適切な運営に必要な火葬炉数の検討を進める。
- ・改築案と改修案について、工事中も火葬の実施が可能な手法の検討を進める。
- ・公の施設等における民間活力活用の総点検を踏まえた取り組み方針に基づき、より効率的、効果的な施設運営となるよう、民間活力活用の推進を図っていく。

5 今後のスケジュール

時 期	内 容
平成30年度	再整備基本方針の策定調査
平成31年度	再整備計画の策定調査

(参考1) 八事斎場現況配置図



(参考2) 本市の火葬実施状況

(単位：件)

区 分	八事斎場	第二斎場	計
平成27年度	19,424	4,363	23,787
平成28年度	16,653	7,663	24,316
平成29年度 (10月末現在)	8,835	4,493	13,328

注：第二斎場は平成27年7月13日供用開始

